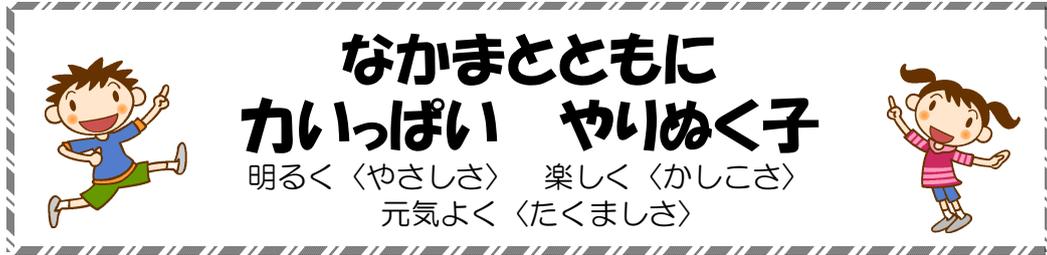


1 学校の教育目標



2 学校経営の重点

～笑顔あふれる緑苑小学校～

- 子どもが育つ計画的で効果的な実践
- 信頼に基づく学校と家庭の連携
- 誇りと愛着をもつ緑苑小の校風づくり

**宝物づくり**

<p><b>学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかる、できる、かしこくなる楽しい授業</li> <li>・自分のための家庭学習</li> </ul>	<p><b>スマイル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが笑顔スマイルタイム</li> <li>・互いのよさを認め合う仲間</li> </ul>	<p><b>ボランティア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも、どこでもちょっとボランティア</li> <li>・ボランティアの記録</li> </ul>
--	--	---

3 学校経営のコンセプト

**「人が育つ学校」**  
～教師が育つことで子どもが育つ 子どもが育つことで教師が育つ～

- (1) どの子にもさみしい思いをさせない学校
  - 思いやり、命を大切にする心等の人権感覚を育てる。
  - 生き方の根となる本質を認め、自己有用感を育てる。
- (2) 子どもに「力」をつける学校
  - 基礎的・基本的な知識・技能、思考力、判断力、表現力を育てる。
    - ・「全国学力・学習状況調査」等の結果を分析し、児童の実態に合わせた指導の充実
    - ・家庭学習の充実を視野に入れた授業づくり
    - ・校区の教育環境の活用
- (3) 美しく整った安全な学校
  - 教師と子どもの危機管理能力を向上させる。
  - 最大の環境は教師であると自覚する。

#### 4 教育指導の課題

##### (1) 夢や願いをもち、明るくのびのびと生活する子どもの育成

- ・「なりたい自分」夢や願いをもたせ、向上心をもって生活できるよう働きかける。
- ・自分の高まりに自信をもち、自己肯定感を抱くことができる。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」生活習慣を身に付け、健康的な生活をする。
- ・休み時間の外遊び、教科体育の充実により、運動に親しませ、体力の向上を図る

##### (2) 豊かな心を持ち、仲間と仲良く楽しく過ごす集団育成

- ・互いのよさを認め合い、所属感や自己有用感を高め、楽しく暮らすための学級活動を工夫する。
- ・「あいさつ」「話し合い」「スマイルタイム」等を通してコミュニケーション力を育成する。
- ・自己を見つめる力と思いやりの心を育む道徳の時間（道徳科）の充実を図る。

##### (3) 一人一人に確かな力をつける

- ・自ら学び、仲間と深め、粘り強く追究する子を育成する。
- ・「わかる」「できる」「かしこくなる」を味わう魅力的な授業づくり。
- ・基礎基本の定着、技能の習得を図り、活用力（思考・判断・表現等）を育成する。
- ・「話す」「書く」など、自己表現力を高める。

##### (4) 地域・PTAと連携協力し、家庭の教育力を喚起

- ・家庭と連携し、生活習慣・学習習慣・健康習慣の定着化を図る。
- ・地域行事への参加、あいさつ運動を通して社会性を育成する。
- ・ボランティアの意識を高め、学校、家庭、地域で進んで活動する。
- ・地域コミュニティの活用、緑陽中学校との連携を図る。

##### (5) 安全・安心な学校づくり

- ・「いじめゼロ」共感的理解と望ましい人間関係の構築。
- ・「自分の身は自分で守る」健康被害や事件・事故、災害による被害の未然防止
- ・意識を高める「命を守る訓練」と、関係機関と連携しての安全対策

##### (6) 教師力の向上（学習指導力・学級経営力・特別支援教育力）

- 自己の課題を明確にし、主体的に研修を進め、確かな指導力を身に付ける。
  - ・互いに研鑽を積み、より質の高い教育を求める職員集団
  - ・自身の専門教科にこだわり、よりよいものを求める教材研究
  - ・日常的な情報交流と、互いのよさを学び合う授業及び学級経営交流
  - ・ニーズに応じた研修（IT活用や情報モラル、特別支援教育等）

## 学び続ける意欲と謙虚さ

どんな時も子どもに軸足をおいて考える！

子どもから学ぶ気持ちを忘れない！